



自分の命は自分で守るために



今年の夏は、皆様、いかがお過ごしでしたか。

毎日発表される気温の数字に、目や耳を疑いつつ体感としては、納得するそんな日々を過ごしました。

園和小学校に着任して一番に考えたことは、

- ・水泳の授業が本格化すると泳ぐことに自信を持つ子どもが増えるため、夏季休業期間中の水難事故対策を徹底する必要があるということ
- ・交通の便がいい立地条件にあるので、交通事故に遭わない交通マナーを身につけさせたいということ
- ・熱中症対策を身近に感じ、自分でも意識をして行動ができること

上記の点について、学力の定着と並行して子ども達の命を一番に考え「自分の命をどのようにして守るのか」を1学期中は学年の発達段階に応じた説明を、様々な角度から伝えてきました。

私は教師になる前の学生時代に、あるサッカークラブの幼児部の指導をしていました。毎年恒例の小学生対象の夏合宿に参加した私は、海水浴で子ども達が私にしがみついてきたために危うく溺れかけるということがありました。咄嗟のアクシデントに遭遇した時、自分だけでなく人も助けるということはとても難しいことを実感したのです。そういった経験からライフセーバーの資格や知識を有していない者が、他人を助けることは困難であるということを理解し、当たり前のことですが以下のことを守れる大人になってほしいと願っています。

- ・危険な場所かどうか見分ける力を持つこと
- ・マナーやルールを守れる人になること

学校では、学力の向上はもちろんですが、根底には、人として他者との関係を良好に構築できる人という素地を育成する時間を大切にしています。



鈴虫の涼やかな鳴き声が響いています



古くから「鳴く虫の王」と呼ばれている鈴虫を育てるのが、最近のマイブームです。育てるまでは、秋の虫というイメージが強かったのですが、5月から6月にかけて卵から孵化し数回脱皮をすると7月下旬から鳴き始めます。昔は、虫かごを持って蝶やバッタなどを捕まえたりする子ども達の姿がありました。

しかし、最近のニュースによると大人が虫嫌いなために、子ども達も虫を触れない子が増えているとあります。鈴虫を見て、「コオロギ?」「カブトムシ?」なんて尋ねてくる子もいます。逆に、虫博士?と思うほど生き生きとした表情で話をしてくれる子もいます。学校では、季節の移り変わりを教育環境の中で気づいたり学んだり体感してもらえることを目的に整備しています。また、同学年や異学年のお友達とどうやって良好な関係を構築できるのか試行錯誤してほしいと願っています。うまくいくことばかりではありません。

失敗する中からも、学びはたくさんあります。90個の鈴虫の卵を入手して、現在成虫になった鈴虫の数を数えにぜひ、校長室前にお越しください。9月中でしたら、涼しげな鳴き声を聞けるかもしれません。

でも、驚かないでくださいね。想像以上のビッグサイズです。

(文責：横山 智恵子)

< 9 月 の 行 事 予 定 >

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	金	給食開始 修学旅行説明会	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	敬老の日
4	月	委員会	19	火	第130回創立記念日 銀行日
5	火	銀行日	20	水	
6	水	4年社会見学	21	木	
7	木	放課後学習	22	金	園和子どもまつり 給食後下校
8	金		23	土	
9	土		24	日	
10	日		25	月	
11	月	朝会 クラブ	26	火	
12	火		27	水	3年環境体験学習
13	水		28	木	6年修学旅行
14	木	放課後学習	29	金	6年修学旅行
15	金	地区別集団下校	30	土	

< 10 月 の 行 事 予 定 >

2日(月) ~6日(金) 読書週間 13日(金) 研修のため、1年生以外給食後下校
 11日(水) 6年連合体育大会 19日(木) 就学時健康診断

☆警報等の発表に伴う学校園の臨時休業の対応について☆

この度、臨時休業の判断基準について改定がありました。手紙にてお配りしましたが、市のホームページにも方針が記載されているのでそちらでもご覧いただけます。



<非常変災時における臨時休業の判断基準について>

☆各学年研究授業時の下校時刻について☆

2学期より、職員の業務改善と研修の充実のため、各学年の研究授業の際、当該学年以外の児童は、給食後下校致します。

10月13日(金)に1年生以外の児童は、13:30頃下校致します。

今後の日程につきましては、各学年通信にて、事前にお知らせ致します。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。



☆創立記念日について☆

今年の9月19日で創立130年を迎えることとなりました。

右の写真は、創立100周年の際に作られたもので、切れ目の左半分が今までの100年、右が将来を表しているようです。東門を入れてすぐ右手にあるので、またご覧ください。

